

# 図書館だより

5月号  
令和8年度



皆さんは生活の中で鳥を見かけることがありますか？ ペットとして飼っている人もいるでしょう。5月10～16日は愛鳥週間です。いつもより少し鳥に意識を向けてみると、意外な発見があるかもしれません。今月は鳥にまつわる本を紹介します。

参考：『すぐに役立つ366日記念日事典 第4版 上』日本記念日協会/編 加瀬清志/著（創元社）

## 『僕には鳥の言葉がわかる』

鈴木俊貴/著 小学館 488す

これまで言葉を持つのは人間だけであるとされてきました。しかし、動物の言語学を専門に研究する著者は森に通って観察と実験を繰り返し、シジュウカラの鳴き声の一つひとつに意味があることを突き止めます。鳥たちの会話を理解し彼らの世界を知れば、毎日はもっと豊かになるのでは。

## 『ペンギン・ハイウェイ』

森見登美彦/著 KADOKAWA 913も

調べること、知ることが大好きな小学4年生のアオヤマ君が住む町に、突然次々とペンギンが現れヨチヨチと歩き始めます。アオヤマ君は早速「ペンギン・ハイウェイ研究」に取りかかますが、どうやら謎めいた歯科医院のお姉さんがそのペンギンたちに関係していることに気づきます。

### こちらもおすすめ

#### 『カモメに飛ぶことを教えた猫』(改版)

ルイス・セブルベダ/著  
河野万里子/訳  
白水社  
963せ  
#仲間 #母の愛

#### 『カーくんと

森のなかまたち』  
吉沢誠/文 夢ろ丘実果/絵  
ワイズ・アウル Eむ  
#友情 #命

#### 『金子みすゞ童謡集 わたしと小鳥とすずと』

金子みすゞ/著  
JULA 出版局 911か  
#詩集

## 世田谷の今昔

皆さんが住む世田谷区は東京都23区で2番目に広い区で、多くの電車やバスの路線が走る人口の多い地域です。では皆さんの学校や家がある場所の昔の様子を知っていますか？学校図書館には地域に関する資料もあり、自分の住む町の歴史を知ることができます

参考：東京都、都庁総合ホームページ、都内区市町村マップ(都の概要)  
<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/tokyoto/profile/gaiyo/kushichoson.html>  
(参照 2026.4.7)

## お知らせ

体育祭ももうすぐ！  
スポーツの本を読もう！



雑誌も  
充実！

### ●奥沢中にあるスポーツ雑誌●

- ・月刊バレーボール 日本文化出版
- ・月刊バスケットボール 日本文化出版
- ・スマッシュ (テニス) 日本スポーツ企画出版社



## ●本の返却期限を守りましょう

1人 5冊 4週間

学級文庫、出張図書館に置いてある本を借りたい時は、各クラスの図書委員、図書館カウンターまで申してください。

本の表紙画像は出版社から許諾を得られたものや、出版社または「版元ドットコム」のWebサイトで掲載可能であることを確認できたものを掲載しています。また、イラスト画像は制作者の利用規約を確認して使用しています。2026.05Libnet

# 読書のとびら

5月号 世田谷区立奥沢中学校図書館



## 『あの夏の正解』

早見和真/著 新潮社(783)  
コロナ禍で夏の甲子園大会が中止になり、ひたすら進んできた道が突然閉ざされ、野球について自分の人生について考えなければならなくなった球児達…。済美高校と星稜高校の部員や監督への取材を重ねたノンフィクションです。



## 部活の本

部活動やスポーツ・芸術に関連した本を集めました。図書館に読みに来てください。

## 『風に恋う』

額賀 澤/著 文藝春秋(913)  
中学時代に吹奏楽で全国を目指して夢破れた茶園基は、廃部寸前の高校の吹奏楽部で再び全国を目指します。  
切なくて熱い青春小説です。



## 『八秒で跳べ』

坪田侑也/著 文藝春秋(913)  
春高バレー予選の数日前からこの物語が始まります。高2の宮下景は、ふとしたことで右足を痛めてしまいます。準々決勝で宮下に代わって出場することになったのは…。



## 『平和のバトン』

広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶  
弓狩匡純/著 くもん出版(319)  
広島市立基町高校創造表現コースの生徒たちが被爆者の話を聞き、想像力と描写力によって原爆の情景を油絵に描いて再現するプロジェクトのノンフィクションです。



## 『幕が上がる』

平田オリザ/著 講談社(913)  
地方の弱小演劇部に新しい仲間と新任の教師が加わったことで部員たちの意識に変化が生まれます。全国大会を目指すようになる演劇部の部活を丁寧に描いた小説です。



## 『パラ・スター〈Side 宝良〉』

阿部暁子/著 集英社(913)  
主人公の宝良は、交通事故に遭い、車いす生活になります。引きこもりがちになっていた宝良でしたが、親友の百花に誘われて行った車いすテニスのジャパンカップを観て、車いすテニスに挑むことを決意します。



## 『ホケツ』

小野寺史宜/著 祥伝社(913)  
高3の宮島大地はサッカー部の万年補欠です。母を亡くし、伯母と二人暮らしをしていますが、伯母にはレギュラーだと嘘をつき続けています。優しい伯母と素敵な仲間たちとのあたたかい日々を描いた小説です。



## 『スラムダンク勝利学』

辻 秀一/著 集英社インターナショナル(780)  
漫画『スラムダンク』の名場面・名言を基にして、より良い社会生活を送るための意識の持ち方を解説しています。

